

2012 年度山谷夜回りの会活動報告

2013/3/21
文責 村井

1 はじめに

山谷夜回りの会をご支援いただきまことにありがとうございます。本年度の当会の活動報告書を皆様のお手元にお送りさせていただきます。

当会は 2002 年度まで、フランシスコ会中谷神父主催の『山里の家』の炊き出しグループとして活動してまいりましたが、ご高齢になられた中谷師の体力的な問題などの事情で、『山里の家』としての炊き出し活動が中止となったため、2003 年度より『山谷夜回りの会』として新たに活動を開始いたしました。『夜回りの会』として活動を始めてから、来年度で 11 年目となります。

今年度は、昨年度の大震災後の復興需要が徐々に終息した模様で、ここ最近では野宿をされている方たちの人数はほぼ例年通りの水準となっております。ただ少々気になりますのは、若い方が増えてきている点です。元来山谷の町は人の入れ替わりが激しいのですが、今年度は新しく山谷で生活を始められたように見受けられる若い方たちが連れ立って野宿されている光景が増えたように思います。新しい方たちは炊き出し慣れしていないためか、配布の手順などご理解いただくのに少々手間取ったり、ご近所からのクレームをいただいたりというようなことが多くなりました。近年若年層が正規の職に就けないという問題がメディアでも盛んに報じられておりますが、その影響が徐々にドヤ街にも表れてきているのではないかと思います。高度経済成長期に現場で作業されていた方たちが高齢化して山谷は福祉の町になり、近い将来ドヤ街は消滅する、という説もございますが、山谷の規模は縮小しつつも当面は日雇い労働者の町でありつづけるのかもしれない。

またごく最近ですが、巷で言われておりますアベノミクスの影響でしょうか、野宿の方に仕事の手配をする人が山谷に戻ってきているという話を耳に挟みました。長い不況で、若くて体力のある方以外は探しても仕事がない状態が続いていましたが、この調子でうまく経済が回るようになれば今野宿をされている方たちにも仕事が回ってくるようになるのかもしれない。一日も早くぜひそうなってほしいものです。

今年度も非常に多くの方から活動への御支援を御寄付やボランティア参加の形でいただくことができました。どうもありがとうございます。当会が活動を継続できたのは、お米・梅干・海苔・毛布・衣類・日用品・献金、そして祈りと励ましなど、様々な形でご支援くださいました皆様のおかげでございます。社会全体にわたる大きな問題の前に、当会の働きは小さなものではございますが、皆様のお力添えをいただきながら、一人一人の小さな力を合わせて、引き続いて山谷地域の野宿生活の皆様への支援活動を続けていければ幸いです。来年度もご支援のほどどうぞよろしく願いいたします。

簡単ながら、今年一年間の活動の様子をご報告させていただきます。

2 ボランティア参加者

今年度の活動の大きな問題としてはボランティア参加者数の減少がございます。恐らく大震災の影響かと思うのですが、昨年度に引き続いて若いボランティアの方が大幅に減少しています。私の周辺の学生さん達もボランティアは東北に行くという場合が多いようです。ただし、最近では被災地の方でもボランティア数が激減しているようですので、それだけが原因とは言えないかもしれません。

例年よりも人数が少なかったため、特に冬場の衣類等の配布物が多い時期は少々厳しかったのですが、ベテランボランティアの皆様の奮闘で何とか乗り切れたという感じです。

他のボランティア団体でも同様のことは起きているようですので、如何ともしがたいことではございますが、もう少し積極的に募集をしたり、夜回りでの作業の効率化を図ったりする必要がありそうです。

3 おむすび

野宿の皆さまが一番必要とされるのは何と言っても栄養のある食べ物です。そのため夜回りで最優先してお配りしなければいけないのはおむすびになります。今年度もカトリック松戸教会とカトリック町田教会、そしてカトリック三軒茶屋教会の皆さまが一年間、心を込めておむすびを作ってくださいました。三教会の皆様他に定期的に大量のお米をご寄付くださる方、御海苔・梅干をお届けくださる方、教会から山谷までおむすびを運んでくださる方、その他にもたくさんの方々のご支援のおかげでおむすびの配布を継続できております。本当にありがとうございます。今年度は第一・第三木曜日が休日にあたることが多く活動日が例年より二回ほど少なくなりましたがそれでも、合計で12187個のおむすびを山谷の皆様にお届けすることができました。またその他に、日持ちのするロングライフパンなどのパン類を1673個おむすびと合わせてお配りさせていただきました。また他にもご寄付でいただきましたお菓子類などを適宜お配りさせていただいております。

来年度も山谷の皆様のお手元に心のこもった手作りのおむすびをお届けできればと思います。どうぞご支援をよろしくお願いいたします。

4 衣類・日用品

今年度も皆様のご寄付のおかげで、山谷の皆様にとたくさんの衣類と日用品をお配りすることができました。ご寄附いただいた皆様、どうもありがとうございました。お配りした物資の詳細は別紙の表をご覧ください。

今年度も春夏は特に大きな問題もなく物資等の配布ができていたのですが、やはり秋から冬にかけてお配りする冬物衣類が著しく不足しておりました。毎年誠に残念ながら冬を越せずに路上でなくなる方がいらっしゃいますので、越冬重視ということで暖かい季節の日用品などを減らし、防寒に役立つ物資や風邪薬を大目に配布するように調整いたしました。ただそれでも防寒具類の中で特にジャンパー・セーター・ズボン下は必要量に対する不足が圧倒的で、持参すると瞬時になくなるという形になってしまっております。

購入品の内で金額・数ともに最も多いのは毛布になっております。防寒に役立つ品々の中ではくるまって暖を取ることでできる毛布が最も必要性の高い品だからです。しかしながら野宿生活の大部分の方は、着のみ着のままですべての持ち物を両手に抱えて移動生活をされているので秋になった時点では毛布等はほとんど持っておられません。そのため9月の終わりから11月にかけて炊き出しの度に毛布を車に詰めるだけ積んでお配りしております。ただ毛布は外での使用のため劣化が激しくあまり長持ちしませんので、12月以降も交換用の需要や、新規に野宿を始められる方たちの分を継続的にお配りしております。

毛布の次に越冬用の需要が大きいのはジャンパーとセーターですが、一つ当たりの単価が毛布に比べて高いので、予算の都合上大々的な購入は見合わせております。しかしながら、野宿の方たちにとって冬を越すうえで欠かすことのできない品です。もしご家庭に中古でまだ使える男性物のジャンパー・セーターがございましたらぜひご寄付をよろしくお願いいたします。

5 会計報告と口座について

今年度も皆さまから大変たくさんのご寄付をいただきました。中でもおむすびづくりでも大変お世話になっております松戸教会からは、今年もバザー売り上げをご寄付としていただきました。また毎月定期的にお志を振り込んでくださった方もいらっしゃいました。皆様どうもありがとうございました。簡単ながら、2012年度の会計報告をさせていただきます。

具体的な用途といたしましては、毛布類と衣類・日用品の購入、ご支援をいただいた皆様への報告書の郵送費となっております。内訳といたしましては下の表のように、冬場の毛布・下着（特に冬場の防寒用ズボン下）・日用品類の購入費が大きなウェイトを占める形となっております。

今年度の繰越金 7887 円は、2013 年度の毛布購入費や日用品購入費に充てさせていただきます。どうぞご了承下さい。

当会のご寄付の口座ですが、昨年度と同じく下記の口座となっております。

どうぞよろしくお願いいたします。

郵便振込ご利用の場合

口座番号：00180-8-429173

口座名称：山谷夜回りの会

金融機関より郵貯銀行へお振込の場合

銀行名：ゆうちょ銀行

金融機関コード：9900

店番：019

預金種目：当座

店名：〇一九 店（ゼロイチキユウ店）

口座番号：0429173

以下に 2012 年度の会計報告を掲載させていただきます。

2012 年度山谷夜回りの会会計報告書

(2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日)

(単位：
円)

	科目	金額
1. 収入の部(A)	前年度繰越金	2580
	寄付金収入	979000
	合計	981580
2. 支出の部(B)	毛布類代(毛布 700、タオル 600)	313160
	下着類・日用品類代	638933
	通信費・印刷代	21600
	合計	973693
3. 次年度繰越金(A-B)		7887